

水本 修二 Shuji Mizumoto (1941-2013)

1941年満州生まれ。1946年から1959年まで訓子府町に在住し、訓子府小学校、訓子府中学校、北見柏陽高校を卒業後、1963年に武蔵野美術大学（東京都小平市）を卒業しました。

1971年に第2回現代国際彫刻展コンクール賞を受賞。1979年・1981年に第1回と第2回のヘンリー・ムア大賞展優秀賞を受賞し、1981年から1982年にかけて文化庁派遣在外芸術家研修員としてアメリカとヨーロッパに滞在しました。

その後、1985年に武蔵野美術大学彫刻学部の講師に着任し、後進への指導にあたりるとともに1970年代から80年代にかけて金属彫刻の新しい分野を開拓し、表現の幅を広げることに情熱を注ぎました。



彫刻作品「関係空間」

(1985)

高さ：4m（最低部1.4m） 幅：4m

材質：コールドテン鋼、ステンレス

水本氏の主要なテーマは「関係」であり、鉄と他の素材との関係、作品と展示される空間との関係、作者と鑑賞者との関係を探りながら創作活動を展開してきました。

作品「関係空間」には高低があり、視界に入ってくる風景に変化が出てくるため、作品の周りを回りながら見たり、内側に入ってみたりすることで、鑑賞者が様々な感じ方ができる特徴があります。

ヘンリー・ムア大賞優秀賞を二度受賞した後、文化庁派遣在外芸術家研修員として海外で学び、この作品は帰国後初の大作となりました。